

【資料3】用語集

名 称	意 味
ライフサイクルコスト	企画・設計から維持・管理・廃棄に至る過程に必要な経費の合計額。
生活道路	その地域に生活する人が、住宅などから主要な道路に出るまでに利用する道のこと。
幹線道路	全国あるいは地域・都市内において、主要な地点を結び、道路網の骨格を形成する道路。
安全運転義務違反	道路交通法第70条「車両等運転者は、当該車両等のハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない」に、違反する行為。
ゾーン30	歩行者や自転車の通行が優先される生活道路における安全対策の一つで、自動車の最高速度を時速30キロメートルに設定する交通規制と、路面標示等の安全対策を必要に応じ組み合わせて実施する。
高輝度化	輝度とは、ある点から発せられている光源のまぶしさを示す光の強さ。高輝度化とは、夜間に点滅・発光するなど、視認性を向上させること。
高機能舗装	従来のアスファルト舗装よりも、アスファルトに混ぜる礫（れき）に間隔をもたせて、目を粗くした新しい舗装方法。耐久性は低くなるが水はけがよく、道路騒音も低下することから、安全走行性、沿線環境保全に効果が高い。
高視認性区間線	走行中踏むと音がする凸凹のあるラインなど、路面標示の視認性を向上させる。
通過交通	ある地域を車や徒歩などで通る際、ただ通過するだけで直接その地域に用がないといった交通。
交通需要マネジメント（TDM）	自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取組み。
パークアンドライド	自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して都心部の目的地に向かうシステム。
交通結節	人や物の輸送において、複数の同種あるいは異種の交通手段の接続。
道路ふれあい月間	8月1日から8月31日。道路の役割と重要性を認識し、道路愛護活動の推進や、道路の正しい利用の啓発を図る。
公益財団法人交通遺児育成基金	自動車事故によって一家の働き手を失った交通遺児に対して、損害賠償金等の効率的・安定的な運用ならびに遺児育成資金の長期安定給付を目的として、1980年8月に発足。生活・就学資金の付与が主な一般の支援制度と異なり、「まとまったお金を最初に預けて年金支給を受ける」基金制度を行っている。

<p>自転車安全利用五則</p>	<p>1 - 自転車は車道が原則、歩道は例外 2 - 車道は左側を通行 3 - 歩道は歩行者優先で、左側を徐行 4 - 安全ルールを守る（飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認） 5 - 子供はヘルメット着用</p>
<p>運転経歴証明書</p>	<p>高齢者の免許証の自主返納を促進するために、身分証明書としての機能を代用するものとして考え出されたもの。本人の写真とともに、住所・氏名・生年月日、取り消し前5年間の自動車等の経歴が記載される。</p>